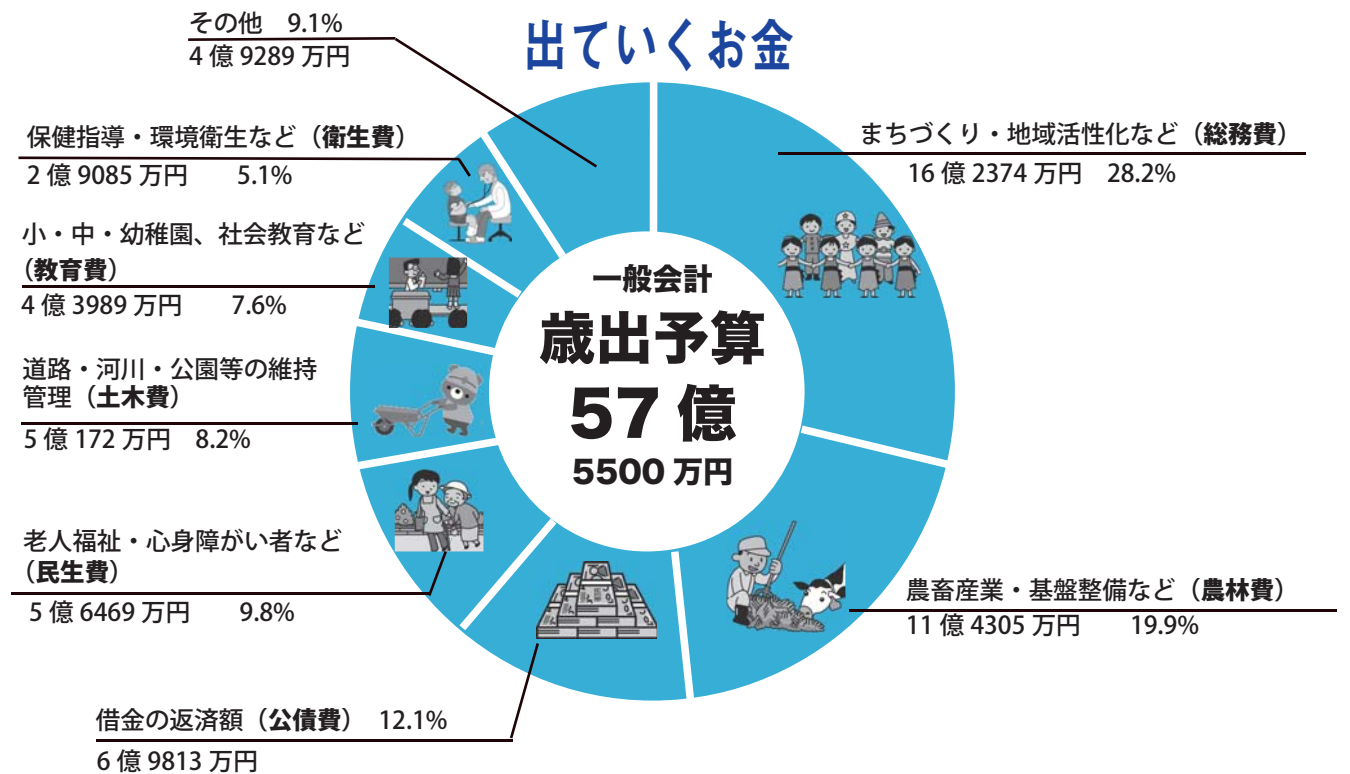
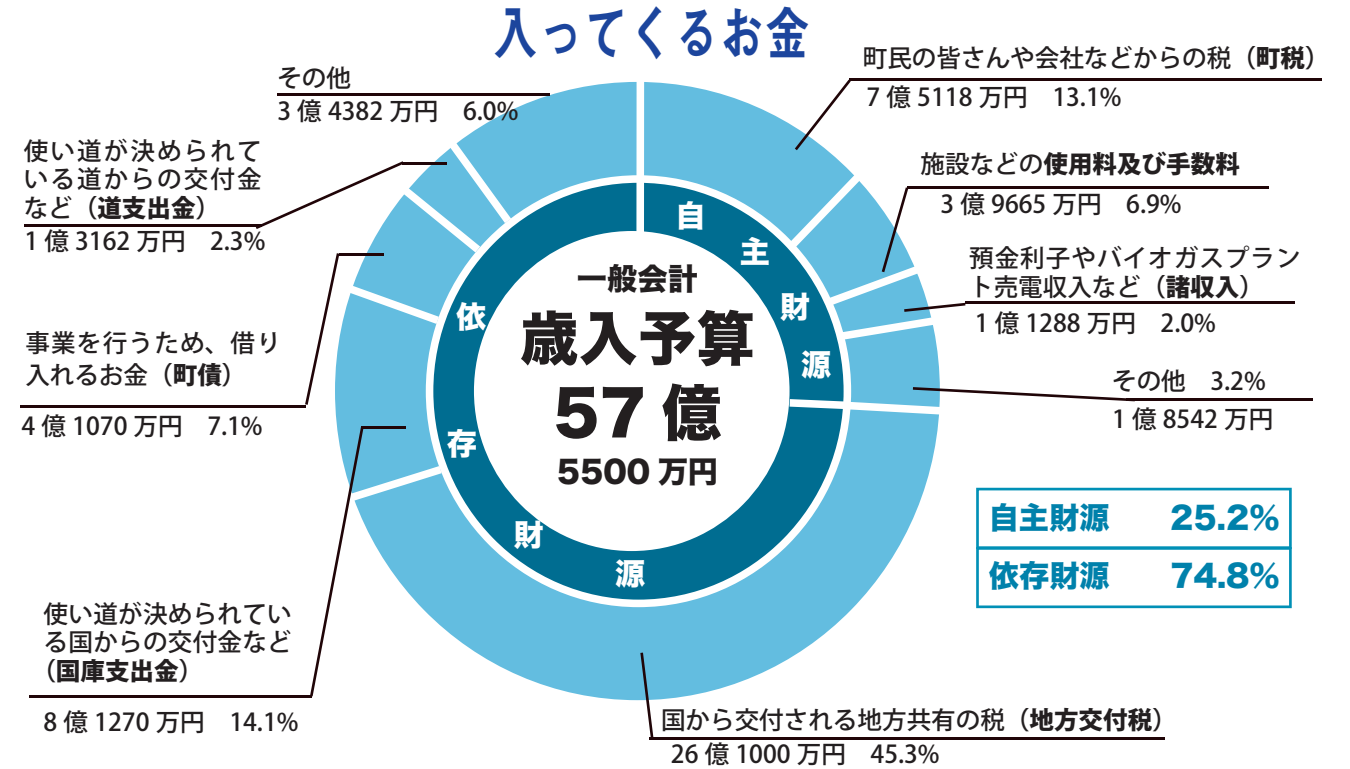


一般会計だけでは4億6千4百万円の増で、これは継続事業の瓜幕川用水施設整備事業及び東瓜幕西19線改良事業をはじめ、土地改良事業や暗きよ排水事業などの農業基盤整備事業の増、公営住宅建設費の増によるものです。

歳入（円グラフ参照）のうち、町税については対前年比4.3%増の7億5千万円。地方交付税については、地方財政計画を勘案した26億1千万円が計上されています。

歳出では、経常経費について、新規施策をのぞき昨年と同程度の規模となり、投資的な経費としては前述の農業基盤整備、道路事業等景気対策を意識した予算となっています。

また、防災体制の強化や、健康づくり事業など住民生活に関わりの深い事業にも配慮した予算となっています。



条例

最高5千円の家賃を助成

鹿追町民間賃貸住宅家賃助成制度

まちの活性化をめざし、町内の民間住宅に居住する者に対して家賃の一部が助成される条例です。

助成対象者は民間の賃貸住宅に居住し、世帯員全員の前年所得の合計額が2億27万円以下（給与収入で3億50万円）の町内在住者です。

- この条例の目的は、
- (1) 定住人口の増加
 - (2) 経済の発展
 - (3) 住民生活の安定にあります。

議会では、従来から継続の定住促進住宅建設奨励制度と賃貸住宅建設促進事業制度の1年の期限延長とあわせ全会一致で可決しました。



ワーキングセンターでの加工実習

農畜水産物の6次化を推進

農畜水産物の加工と開発研修

【鹿追町ワーキングセンター】農畜水産物を加工製造することで、地場産業の育成と地域農業の振興を進めるため、従来の鹿追町ふれあい農芸公園設置等に関する条例を廃止し、鹿追町ワーキングセンター設置及び管

理に関する条例を新規に制定しました。

ワーキングセンター内に新たに生肉加工室と惣菜室を増築し、それともない料金体系等の改正を行いました。

6次産業化とは、農業や水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態を表します。

同意

固定資産評価審査委員に上村政浩氏を選任

坂本圭三氏が3月29日に任期満了となるため、固定資産評価審査委員に上村政浩氏（上然別）の選任（新任）提案があり、これに同意しました。

人権擁護委員に森末彰徳氏を推薦

葛西節子氏の後任の人権擁護委員に森末彰徳氏（仲町4）の推薦（新任）提案があり、これを適任としました。

請願

畜産物の価格決定等に関する請願

提出者
鹿追町農民団体連絡協議会
会長 上嶋誠一
鹿追町農業協同組合
組合長 佐藤雅仁
紹介議員
狩野正雄・山岸宏

総合的な酪農・畜産政策の推進のため、加工原料乳生産者補給金の適正な単価と限度数量の適正な水準の確保。牛肉・豚肉生産の安定確保。食料自給率の向上や農業の多面的機能の実現にむけた実効性のある酪農・畜産政策の推進。担い手対策の確立等の請願は本町の基幹産業の農業を守る観点から採択しました。

更にTPP交渉参加断固反対など国際自由貿易交渉に対する意見を付与し、意見書として内閣総理大臣をはじめ関係機関に提出しました。

補正予算

継続事業である道営担い手畑総事業（土地改良事業）の美蔓地区ほか、負担金3千1百30万円を追加。町営牧場運営負担金を1千97万円追加。障がい者自立支援介護給付費、自立支援医療給付費8百51万円等を追加補正しました。他は事業の執行残による減額補正です。

